

## 翻訳にあたってのヒント

### その 100

#### ■「ソーラン節（北海道民謡）」はヘブライ語の行進讃歌である！

「ヤーレンソーランソーランソーランソーランソーラン（ハイハイ）」で始まり、「チョイ ヤサ エーエンヤサー ノドッコイショ（ハードッコイショドッコイショ）」で終わるおなじみのソーラン節であるが、大方は単なる掛け声だと解釈し、その意味をご存じの方はほとんどいないのではなかろうか（かく言う私もその一人であったが…）。そこで、今回はその歌詞に秘められた意味をご紹介します。

#### ●「ヤーレンソーラン = 一人で喜び歌う！」 「チョイ ヤサエ エンヤンサー ノドッコイショ… = 神の御力によって押し進んで行けますように！」:

(「[http://judea.naritacity.com/journal\\_japan\\_060215.asp](http://judea.naritacity.com/journal_japan_060215.asp)」より一部抜粋)

「ヤーレン」に注目してみましょう。ヘブライ語には「喜び歌う」という意味を持つ(reenen)の未来形として(yeranen)という言葉があります。これは普通に発音するとイエラネンとなり、それが多少訛ってほぼ同等の発音に聞こえる「ヤーレン」になった。

「ソーラン」も、それと全く同じ発音を持つ(solan)というヘブライ語があります。この言葉はソロシガー、すなわち「一人の歌い手」を意味します。するとイエラネン・ソーランは「一人で喜び歌う！」と解釈できます。

「チョイ」のルーツはヘブライ語で「ツォイ」という発音を持つ言葉であり、これは「行進する」、「前進する」の意味。

「ヤサエ・エンヤン」は「まっすぐ目指す」という意味のヘブライ語、で、これはそのままヘブライ語の辞書にも事例としてしばしば掲載されています。そして(saar)という言葉は、ヘブライ語で「嵐」を意味する言葉。

「ノ・ドッコイショ」という掛け声で締めくくられます。(na)は、「お願いします！」という祈りの言葉。

「ドッコイショ」は既に解説した通り、「神の助けによって押しのける」という意味を持っています。これらを合わせると「神の御力によって押し進んで行けますように！」という祈りの唄。

● ソーラン節（北海道民謡）：

ビデオ（ <http://www.youtube.com/watch?v=9wMGfwD7TA&feature=related> ）

①ヤーレンソーランソーランソーランソーランソーラン （ハイハイ）  
にしん来たかと 鷗に問えば わたしゃ立つ鳥 波に聞け チョイ  
ヤサ エーエンヤーサーノ ドッコイショ （ハードッコイショドッコイショ）

②ヤーレンソーランソーランソーランソーランソーラン （ハイハイ）  
沖の鷗に 潮どき問えば わたしゃ立つ鳥 波に聞け チョイ  
ヤサ エーエンヤーサーノ ドッコイショ （ハードッコイショドッコイショ）

③ヤーレンソーランソーランソーランソーランソーラン （ハイハイ）  
男度胸なら 五尺のからだ どんと乗り出せ 波の上 チョイ  
ヤサ エーエンヤーサーノ ドッコイショ （ハードッコイショドッコイショ）

④ヤーレンソーランソーランソーランソーランソーラン （ハイハイ）  
躍る銀鱗 鷗の唄に お浜大漁の 陽がのぼる チョイ  
ヤサ エーエンヤーサーノ ドッコイショ （ハードッコイショドッコイショ）

これにて、はーどっこいしょ・どっこいしょと第100回目終了。